



充実した夏休みに向けて！

明日から四十一日間の夏休みが始まります。この期間、子供たちは、家庭で過ごす時間が長くなります。日頃できないお手伝いに取り組んだり、地域の行事や体験活動に参加したりするなど、充実した時間を過ごしてほしいと思います。

そのためには、事件や事故に巻き込まれず、安全に過ごすことが大切になります。子供たちには、学校や家庭で決められたルールを守り、自分や他人を大切にする言動に心がけてほしいと思います。

特に、SNSのトラブルや不審者、交通事故、水難事故は、子供たちの命を脅かします。保護者の皆様におかれましても、注意喚起をお願いします。何か心配事等がある場合は、家族や学校、関係機関等に相談するよう併せてお話し下さい。

二学期の始業式は、八月二十九日です。子供たちと笑顔で会えることを、楽しみにしていま

学校訪問をしていただきました！

7/11（金）は保護司会の皆様に、7/16（水）は主任児童員及び民生委員の皆様に学校訪問をしていただきました。

訪問では、今年度の学校運営についての説明と情報交換を行いました。参加された皆様からは、本校生徒の頑張りを褒めていただきたり、地域での様子を伺ったりすることができました。子供たちの健全育成のため、学校や関係機関の皆様の役割を再確認することができました。



命の大切さを学ぶ教室の感想「命の大切さを学んだ日」 3年1組 植里 帆翔 さん

私は、平成十五年に熊本市で娘さんが被害に遭われた米村州弘さんから「命の大切さについて」のお話を聴いて二つのことを考えました。

一つ目は、普段会っている人を大切にすることです。米村さんは、当時中学三年生の娘さんに、これから先に使えたなら子供のためになると思い、パソコンをプレゼントされました。娘さんはそのパソコンで文字だけでのやりとりをしていた人から被害に遭いました。私は、このお話を聞いてSNS上の文字だけでは、いい人と判断はできないと改めて思いました。また、毎日会っている友人や家族を信用すべきだと知ることができました。

二つ目は、一つの命にはたくさん的人が関係しており、生きているだけで幸せにできるということです。お話の中に、「遺族の方々は、笑ったことがない」という言葉がありました。私はこの言葉から生きているだけで周りを幸せにできているということを忘れずに、自分や周りの人の命を大切にしていこうと強く思いました。そして、米村さんの「今を楽しんでその積み重ねに将来がある」「一生付き合える友人を作り楽しい時間をずっと続けてほしい」という言葉から、今当たり前にできていることに感謝し、続けていきたいと思いました。

これから私は、どんなに辛いことがあっても生きて、辛い人には正しいことを言うのではなく、話を聞いてあげたいと思います。また、命を守るために、身の回りの生活、道路などでも気をつけていきます。



